

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成30年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 191-0062

所在地 東京都日野市多摩平1-2-26 シンデレラビル 3F

評価機関名 特定非営利活動法人 あす・ねっと

認証評価機関番号

機構 09 - 189

電話番号 042-514-8061

代表者氏名 土方 尚功

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	深谷 守	経営	H1401050
	②	乙子 勝	福祉	H1501034
	③	森川 京子	福祉	H1001032
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	光の森保育園			
事業所連絡先	〒	194-0022		
	所在地	東京都町田市森野5-21-5		
	TEL	042-720-8423		
事業所代表者氏名	園長 佐藤 昌一			
契約日	2018 年 7 月 11 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2018 年 10 月 18 日			
利用者調査結果報告日	2018 年 12 月 20 日			
自己評価の調査票配付日	2018 年 10 月 18 日			
自己評価結果報告日	2018 年 12 月 20 日			
訪問調査日	2018 年 12 月 27 日			
評価合議日	2019 年 1 月 22 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	本評価については「標準の評価」方法を取り、利用者調査ではアンケート集計をより綿密に取り、分析的視点を加えた集計を実施した。職員の調査では標準項目別の回答を集計し、より上のカテゴリーへと機能的に展開したデータを見られるようにした。利用者(保護者)や職員のアンケート回答用紙は匿名性を保持するため当評価機関が直接管理した。本評価に当たっては3名の評価者が担当した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- ☒ 機構が定める部分を公表することに同意します。
☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

事業者代表者氏名

社会福祉法人 光彩会
光の森保育園
園長 佐藤 昌一

年 月 日



1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)常に子供を中心に据えた保育を行い心と体をバランス良く発育させる 2)快活で実行力があり、礼儀正しい態度をそだてる 3)健康な心と体と粘り強い実行力を育てる 4)個性を尊重し想像力豊かな思考力を育てる</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>(1)園の基本方針に基づき、保育方針を遵守し、誠意をもって保育目標の達成に努めてくれる人材</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>将来を担う人材を育成する職ということを理解し、責任を持ち、正直にまじめに保育に取り組み日々、保育の質・保育能力の向上に努める</p>

調査対象

当園の園児数は95名。複数の子どもを預けている家庭があり、重複を避けると当園の保護者世帯数は74となる。調査対象はこの74世帯とし、各設問回答データの取得に当たっては、各家庭の一番年齢の下の子どものデータを規準とした。

調査方法

全保護者世帯に対してアンケート方式を採用。当評価機関で作成した案内状とアンケート回答シート及び返信用封筒を事業所経由で保護者に手渡した。記入された解答用紙は匿名性を保持するため、直接返信封筒で評価機関まで郵送することにし、40通の回答を得た。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

95
74
74
40
54.1

利用者調査全体のコメント

保護者の総合満足度に関する回答は「大変満足」12名(30%)、「満足」23名(58%)、「どちらともいえない」4名(10%)、「不満」、「大変不満」は0名(0%)となっており、無回答は1名であった。「大変満足」「満足」を合わせて35名(88%)という高い評価であった。各質問別回答を「毎日の保育サービス」「安心・快適性」「利用者個人の尊重」「不満・要望への対応」の4区分にわけて集計してみると「不満・要望への対応」についてはやや低い評価であったが、「毎日の保育サービス」と「利用者個人への対応」についてはやや高い評価であった。設問別数値では「問1、保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」が最も評価が高く、問17の「外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できる事を伝えられているか」が最も評価が低かった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	39	1	0	0
「トイレトレーニングや、食事の時にフォーク・スプーンの使い方を教えてもらっている。」「以前より、散歩に連れて行ってくれる機会が増えて、ありがたい。」という意見があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	35	5	0	0
特に意見はなかった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	6	0	0
「たまに食べますが、美味しく、子供も喜んでいます。」という意見があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	32	5	3	0
「お散歩へ行き、犬や電車、人などに会わせてもらっている。」「畑には定期的に行っているが、散歩がとても少ないと思う。」「園庭遊びが多いのもっと公園や畑にいてほしい。」という意見があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	25	9	0	6
「そのような状況にならないので、回答が難しい。」「迎えに遅れてしまうと連絡をした時、「気を付けていらしてください。」と言ってもらえて安心しました。」「お願いしたことがありません。」「補食の注文を急遽お願いしたい時、締め切り時間を過ぎてしまうと受け付けてもらえない。」「当日に電話すると対応いただけ助かっています。」という意見があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	22	15	3	0
「当日に電話すると対応いただけ助かっています。」「オートロックが壊れていると言ったが、すぐに直してくれなかった。他のママが市役所に報告したら、すぐに直った。」「最近、ようやく門の扉が保護されて、安心しています。(ケガをしそうでしたので)」「たまたま、園庭から出て行ってしまう子供がいる。」「外ブロック塀の角が気になっていたが、クッションなどでガードされたので良かった。」「プールの時心配。」という意見があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	5	0	0
「普通だと思います。」という意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	30	9	1	0
「育児日記を毎日記入し、朝・夕必ず連絡・報告しています。」「面談の時は、相談など出来て良いですが、普段はあまり先生とのやり取りは出来ていません。」「迎え時間など、時間帯で担任以外の事も多いので、そこまで話す時間はないです。」「担任の先生とはあります。」という意見があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	35	4	0	1
「先生方が掃除している姿をよく見かけます。園庭や室内もきれいにされています。」「階段の隅が、たまに汚く感じる。」「比較的新しいので、きれいだと思います。」「廊下に物が置いてあったり、災害時の避難の時には、スムーズに移動しづらいのではないかと思います。」「子供が、掃除は”自走型掃除器”でするものだと思っていて、驚いた。」という意見があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	29	9	1	1
「利用者に関する愛想のない方もいる。」「愛想がなかったり、挨拶をしない職員もいる。」「以前よりは、落ち着いてきたように思う。」という意見があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	30	8	1	1
「職場に電話が来て、丁寧に話してくれます。」という意見があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	23	13	2	2
「顔などを友達に噛まれることが何度もあり、加害者の親にも伝えてほしい。」「必ず報告してくれます。」「子供自身から聞いた内容以外で確認のしようがないですが、グループができていく様子で、仲間外れにされるされないといった時の、先生の対応がどうなのか気になります。」「報告はあります。」「職員さんによる。レベルの差を感じる。」という意見があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	33	6	0	1
特に意見はなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	32	6	0	2
「夏場外で全裸でシャワーをすることがあるようで心配しています。」という意見があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	9	0	1
「ホワイトボードが運用されていないので、週の替わりとか、きちんと替えてほしい。」「幼児の申し送りがほぼ「元気でした。」だけなので、もう少し詳しく教えてほしい。」という意見があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	8	3	3
「意見ポストに意見した時も、それに対する回答ではなく、「出来ない」の一点張り、で、努力や改善するという意欲さえ見られなかった。」「人にもよる。一人だけしっかり聞いてくれる方はいた。」「よく対応してくれる職員と全く対応してくれない職員の両方がいるので、人を選んで要望を依頼しなければならない状況です。」という意見があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	9	6	11
特に意見はなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評		
	基本方針や保育目標を当園の運営の中心に据えている 一人ひとりの園児に太陽の光が降り注ぎ輝かしい未来が開けることを願い、地名の一部を取り入れて光の森と命名された当園は平成24年に開設された。基本方針と保育目標を当園の運営の中心に据え職員や利用者等に周知している。入園のしおりや事業計画書に基本方針等の内容の記載があり、園長は入園説明会において基本方針と保育目標を保護者に説明している。また、事務所内に掲示をし、職員には覚えるよう指導をしている。会議等では基本方針に関する保育の内容と関連付けて話をする等基本方針と保育目標に基づく運営を心掛けている。 園長の役割と責任に基づく組織運営と保育の体制づくりがなされている 平成29年度、当園はキャリアパス制度の定着や人材育成制度の改善に取り組み、福利厚生面の改善なども推進した。導入・改善に合わせてこれまでの体制を見直し、自治体と連携を図るなど園長の役割と責任の下で決断され実行された。各クラスの見学では園児の特性を把握した先生方が熱心に没頭して保育している姿が印象的であり先生方の意欲と一体感が感じられた。園長は職員が納得して働ける職場環境を目指しているが、園長の役割と責任に基づく行動が判断できていない部分も見受けられるので長い目で園長の役割を伝えていくことが望まれる。 クラス運営に関しては園長、主任も参加して検討している。 クラス運営に関しては園長、主任を交えて会議を行い、方針・狙いに基づいて進めていけるように話し合っている。この方式を会議の基本とし目的をオープンにして討論している。重要な事項については、理事会、職員会議、委員会で決定され、その決定の内容と決定経緯については職員会議等で園長から伝えられる。これまでは議事録をプリントアウトして職員に配っていたが最近では、全職員にタブレットを貸与しペーパーレス化を実現している。また、利用者には行事に関すること等その都度決定事項を書面で配布している。		

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

当園に関係する様々なグループ・人々から情報を収集し課題を抽出している

当園では利用者・職員・行政等の様々なグループ・人々から、アンケート・行事・対話を通じ要望や意見等を聴取することを心掛けている。また当園の事業計画で育児相談・子育て家庭の支援・一時保育等に取り組んでいるためこれらのイベントを通して各種の意見を集めやすい環境となっている。当園保護者には保育参観や保育士体験時にアンケートの記入を依頼したり意見箱の利用を勧めている。全般的に当園は園の発展のために幅広く要望・意見を大事にする姿勢が見受けられるので、この路線の継続が望まれる。

社会福祉充実計画に基づきリフレッシュ休暇制度が実現されている

事業計画の取り組みとして保護者への育児支援・地域交流・子育て支援等を推進した。例年取り組んでいて年度末の評価と改善を経て次年度に引き継がれているもので実質的な中長期計画と見ることが出来る。また、地元自治体の事業である社会福祉充実計画にリフレッシュ休暇制度を登録し、職員の利用が始まっているが、制度の周知と取得のルールの改善等時間をかけて見守るため中期計画の範疇となる。視点を変えて課題を検討すれば中長期計画として実行する方が適切なものがあると思われるので案件を総合的に検討することが望まれる。

新年度の課題が反映された事業計画書の作成が望まれる

平成30年度からPDCA(計画・実行・評価・改善の循環)の視点から各事業所活動を評価することが要請されている。そのため当年度の事業所の活動は事業計画書に記載された中長期・当年度計画に基づいて実施される。当園では保育にかかわる全体の計画に基づき緻密に行事予定・職員の研修計画等企画し年間活動として事業計画書に記載している。他方当年度のその他の重要課題についても計画のスタンス、最終の期限、目標の達成基準などの点で分かりやすく記述し、課題の完成形が想定される記載が望まれる。

カテゴリ-3			
3 経営における社会的責任			
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			
評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当

カテゴリー3の講評

社会人として保育園職員として守るべき規範や倫理を職員に明示している

職員に対して社会人、保育園職員として守るべき規範や倫理について、職員心得や「光の森職員として気を付けてもらいたいこと」等を制定して明示している。入職時研修を行っているほか園長は「光の森職員として気を付けてもらいたいこと」の内容について暗記するよう要請し、記載された事項を遵守し統一された対応を願っている。ここでは、「子どもの名前の呼び方」「給食について」「子どもの扱いについて」「職員として」の4分類、40項目から構成され手に取りやすい作りとなっているが内容は緻密で保育園職員として相応しい内容となっている。

苦情解決制度の内容を保護者に書面で配布し周知を図っている

園内で生じた事象について保護者が意見や要望を述べた場合に聞き取った職員はガーディアンオピニオンズというタイトルの記録用紙に記載し園長に提出する。出された意見に対し速やかに対応を考え必要に応じて事故対策委員会で検討する。又、保護者に対し苦情についての解決制度があり園長と第三者委員が解決に当たることを周知しているが併せ園内で解決に至らなければ外部の窓口に応出できることを伝えている。周知の方法として相談窓口設置についてのお知らせの書面を保護者宛に配布するなどして丁寧な対応を行っている。

保育中に子どもの様子がおかしいと感じたら園長に報告している

虐待に対応する心構えとして、光の森保育園職員としての自己を常に意識して保育に当たり、職員間でも相互に行動を確認することを大切にしている。また子どもを中傷する叱り方をしない等子どもの人権を尊重した対応を心掛けている。入職時には虐待防止マニュアルを配り相互の啓発のために一般職員が指導している。保育中に職員が子どもの様子がおかしいと感じた場合は園長に報告するとともに、他機関への連絡など連携を図っている。おかしいと感じる感覚も観察眼の向上によるものであり職員が今後も磨きかけることが期待される。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○○●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>不審者対応、感染予防等について優先度の高いリスクとして位置付けている</p> <p>安全対策を講じる必要のある外部的リスクの中で不審者対応、感染予防、避難訓練について、優先度の高いリスクとして位置付けている。特に感染症は初動の動きが大切なので保護者に感染症人数などを掲示で知らせ、疑わしい場合は受診を進める等保護者の協力を仰ぎつつ対策を講じている。防犯防災委員会がこれらの外部的リスクの安全対策の担当であり災害対策マニュアルの見直しを行っている。職員はタブレットを日常でも、訓練においても手順の確認、マニュアルの確認等で有効に活用している。</p> <p>実施記録から真剣に訓練に向き合っている職員の姿が感じられる</p> <p>それぞれの安全対策ではポイントを掴んだ対策を目指し改良しながら訓練している。不審者対策では初めての人を園内で行動させ不審者チェックの観点から職員が行動に出るタイミングを観察する等実践的なものとなっている。また、避難訓練では園児と誘導する職員が正しい人数となっているか、安全のため安全靴を履いているか、適正な時間で集合場所に到着しているかなどが注意点となっている。園児の誘導時間については毎回データが取られているので誘導の分析が可能となっている。実施記録から真剣に訓練に向き合っている職員の姿が感じられる。</p> <p>BCPについて情報を集め検討することが望まれる</p> <p>当地区では検討する動きになっていないが今後BCP(事業継続計画)を作成する流れとなるので折を見て情報を集め検討することが望まれる。災害の多い日本では復興時点の事業の再開を検討しておくことのニーズが高まりつつあるのでBCPが注目されている。個人情報の取り扱いに関しては個人情報保護規定に基づき個人情報の利用目的の明示や開示請求の対応等を行っている。個人情報の漏洩防止に当たっては職員・実習生などから「秘密保持に関する誓約書」の提供を受け、またタブレットの紛失等には指紋による照合のため安全性は保たれている。</p>		

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</div>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</div>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		
<p>採用はコンスタントに一定数確保できている</p> <p>保育士の採用に当たっては園長のコメントとして毎回応募者の確保に苦労しているとのことであるが最近の採用では退職者を上回って採用者を取っており当園での保育実習生への継続的なアプローチなど地道な努力の成果と言える。当園の職員組織図では入職したての新入生を含めて全職員の氏名、役職名、資格、手当額、職責が明示され、どういうプロセスを経れば上級資格に到達するかなどの目安がクリアとなり透明性を高めている。キャリアパス制度の基礎的な資料として整備され職員が切磋琢磨して向上することが期待される。</p> <p>園長面談の実施と研修の充実が人材育成の柱になっている</p> <p>職員にとってある役職を目指す場合はその役職に伴う職責を担える人材として研鑽を積む必要がある。その研鑽を支援する制度として当園が用意しているのは園長面談と研修制度がある。園長面談では目標管理シートを使用し「今年度の課題」や「一年後こうなりたい」等を記入し園長と主任が実績の評価と激励をコメントをしている。研修については受けたいテーマに参加できるようにしているが受講した内容は園内で報告し、知識の共有を図っている。今後人材育成制度の中身が充実し職員のキャリアパスに寄与することが望まれる。</p> <p>当園は一つの家族(チーム)という形で皆で保育に当たっている</p> <p>当園では誰か一人が引っ張っていくというスタイルではなく、保育園に勤務する職員が対話を通して決定していくことを組織力向上の拠り所としている。例えば、各種会議では日頃感じていることから議題を導き出し改善を検討する等全員の意欲的な行動が前提になっている。これらの積み重ねにより保育園は一つの家族(チーム)という形で皆で保育しているという認識が生まれている。ただ効果的にすべての内容が進められているとは言い難いので試行錯誤をしながら取り組んでいる。問題点も自覚した当園は柔軟にかつ安定した運営を目指している。</p>		

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>○課題 保護者に対する育児支援を積極的に行う</p> <p>この課題は当園として例年掲げ実施しているものであり「保育所としての使命だから」が実施の理由である。地域に貢献できる保育園に相応しいテーマとして育児支援が取り上げられた。</p> <p>育児支援としては育児相談をメインに実施し、年2回の保護者面談や送迎時のコミュニケーションやお便り等の配布、個別に対応が必要な場合はお互いの都合に合わせて個別面談を行う等を実施した。育児の孤立化がなるべく起こらないように相談しやすい環境づくりに加えて園児の写真を掲示する等して園児の様子を知ってもらい安心感につなげている。例えば遠足が雨天のため中止になってしまったので急遽、イベントを企画し皆で歌を歌う等親子同士の交流が深まった。</p> <p>振り返り 29年度の活動により一定の成果が得られ30年度も育児相談を実施する。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>「理由」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園運営における重要な課題に対し、達成度を客観的に判定できる数値目標を設定し取り組んだ ・目標達成に向けた取り組みについて検証を実施した ・事業計画等への検証結果の反映はなされた <p>「目標達成の状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児支援は目標を達成した <p>「副次的な効果」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談に関しては保護者からの発信だけを待つのではなく、子どもたちの日常の姿を話していく中で一緒に思い、子どもを見守っていけるようにコミュニケーションを図っていった。そのために、全園児の日誌やノートを毎日読むことで(園長、主任)保護者の方のサインを見逃さないようにした。 <p>「特筆すべき点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度保護者投稿の子どもの写真とコメントを園内に掲示し、家庭での様子や頑張り、日常の保育園での活動等を知ることが出来て好評だったが、親にとっても子どもの元気な姿に接して安心感を持てたと思われる。 	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

○課題 子育て家庭の支援や小学校や老人介護施設などとの交流を通して、地域の保育園としての定着を進めていく
この課題は当園として例年掲げ実施しているものであり「保育所としての使命だから」が実施の理由である。地域に貢献できる保育園に相応しいテーマとして取り上げられた。
子育て家庭の支援 子育て支援は自治体のマイ保育園制度と連携して進められているが、マイ保育園の登録状況を見ると子育て支援の認知度が低いと感じられるので当園としても呼びかけなどを積極的に行った。具体的なイベントは子育てひろばと名付けられた当園内の場所で開催されるが1歳未満の参加者が多いので、体験保育や離乳食などで1歳を過ぎても来てもらえるように工夫をし、継続した関りが持てるように努力した。
小学校との交流 授業体験では椅子に座らせてもらい話を聞いたり、小学生に学校の中を案内してもらったりして小学校への期待が増々持てるような時間を過ごすことが出来た。
老人介護施設との交流 入居者の高齢化等により訪問を取りやめた
振り返り 子育て支援のイベントの内容についてマンネリ化しないよう検討を考えている

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「理由」
・園運営における重要な課題に対し、達成度を客観的に判定できる数値目標を設定し取り組んだ
・目標達成に向けた取り組みについて検証を実施した
・事業計画等への検証結果の反映はなされた
「目標達成の状況」
・子育て家庭支援は目標を達成した。離乳食体験や0歳児の体験保育は需要が高く、受付開始直後には予約が埋まった。
「副次的な効果」
・小学校の交流では3・4・5歳児が参加し、小学校からも町探検で保育園に来てもらった。こういった経験をしていく中で子ども達は学校への興味や関心を高めることが出来た。
「特筆すべき点」
・子育て家庭の方々にも保育園の行事に参加できるよう企画をしている。地域交流の積み重ねの成果として毎年神社に子ども達の絵を飾ってもらえるようになった。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目
	サブカテゴリ1
1	サービス情報の提供
	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
評価 標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリ1の講評	
事業所情報は入園のしおりがあるが、ホームページは不完全であるので改善が望まれる 園の情報を知りたい利用希望者等が入手できる媒体として入園のしおりやホームページがある。入園のしおりは園名の由来をはじめ保育方針、概要、保育時間、服装、送迎などについて説明されていてわかりやすい内容になっている。しかしホームページについては写真付きの毎日のトピックスと一時保育の案内はあるが入園のしおりにある施設概要や保育内容などはクリックしても画面表示が現れない現状である。日々工夫を凝らして進歩を続ける園の保育活動を広く地域社会に情報発信するために直ちにホームページの改訂版を作成することが望まれる。 保育所の専門性を地域に還元すべく、子育てひろば事業の内容充実を力を入れている 昨年度事業報告書の子育て支援事業に「離乳食体験や0歳児の体験保育は需要が高く、受付開始直後には予約が埋まってしまった。近隣の子育て世帯からの開催希望は多いので期待に応えられるようにしたい」という記述があった。園では「なかよし通信」を旬間で発行し希望者を募っている。ひろばカレンダーで開催日時を知らせ、テーマとして「離乳食・0歳児体験保育」、「ベビーマッサージ」、「わらべうた」、「1、2歳児体験保育」を説明している。園は保育所としての専門性を地域に還元すべく、子育てひろば事業の一層の内容充実を力を入れている。 問合せや見学の要望に対しては個別的な対応をしている 問合せや見学希望に対応しており、見学を希望する場合にはできるだけ都合を合わせるように日程調整を行っている。見学は個別に行い、入園を希望する子どもの年齢に応じて該当するクラスの見学をすすめている。見学時には園で作った「入園のしおり」を希望者に渡して園内を案内し園の保育方針や力を入れている点などの説明をしている。見学者記録には見学した日時、名前、年齢、電話番号、その他として子どもに関する情報（人見知りや激しい、離乳体験年齢など）をできるだけ聴取している。	
	サブカテゴリ2
2	サービスの開始・終了時の対応
	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
評価 標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会で「入園のしおり」を使って重要事項などを説明し保護者の同意を得ている</p> <p>入園を希望する保護者は市への申し込みを経て入園が決定する仕組みである。新入園児を対象にした新入園児説明会を3月に開催して「入園のしおり」を使って園の概要や園生活での基本的ルールについて説明している。このしおりには施設案内図をはじめ服装、送迎、食事、健康診断、与薬、安全対策、準備していただくもの、ディリープログラムなどを詳細に説明するとともに年間行事などをスライドで映し園生活をイメージングしていただいている。その後個別に離乳食や持ち物などの質問を受けて保護者の同意のもと入所申込書を提出してもらっている。</p> <p>子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</p> <p>入園説明会に参加した保護者に必要な書類を配布して、3月中旬までに持参するよう依頼し、持参の書類から全職員が親と子どもの顔と名前が一致するように覚え入園式に臨んでいる。また、児童票については、家族構成、保育時間、送迎方法、送迎者、所要時間、自宅地図、親の就労理由、かかりつけ医、発育歴、既往症、予防接種、かかりやすい病気、性格・くせ、友達、運動、食事、睡眠、排便、清潔、着衣、食べ方、食欲、昼寝、言語等々、サービス開始時からの子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している。</p> <p>利用開始直後の子どもの不安軽減のため慣らし保育を実施している</p> <p>入園当初は家庭生活から集団生活への突然の環境変化で心身の疲労は大きいので園生活への移行をスムーズに行えるよう保育時間の目安を提案している。その時間割は0～2歳児(入所後10日目までの保育時間)の場合、①2～4日目は8:30～10:30②5～7日目は8:30～11:30③8～10日目は8:30～14:30④11日以降は通常保育となっている。3歳児以上の場合も時間割を柔軟に考えて慣らし保育を行っている。また、できるだけ不安を軽減するために保育士は子ども全員の名前をクラスを問わず早く覚えるようにしている。</p>			
サブカテゴリー3			
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評			
<p>保護者会への要望があり、指導計画の説明不足などが解消されることが望まれる</p> <p>園では就労中の保護者の負担軽減のため保護者会の開催はしていない。子どもの様子をめぐって保護者と保育士の意見交換は送迎時のほんの短い時間で行われているのが現状である。ある保護者は日々の保育士のサービスに対し感謝の気持ちをのべるとともに保護者会を設けてくれると嬉しく思う。ご検討をお願いしますと述べている。又職員の調査で指導計画を保護者にわかりやすく説明しているかに対して低い点であった。園側は園だよりでねらいを伝え日案を毎日掲示していると答えている。保護者と職員の相互対話重視の保護者会への前向きな検討が望まれる。</p> <p>園の保育理念に基づき年間指導計画を作成し月案・週案・日案に落とし込んでいる</p> <p>園の保育理念に基づき各クラスの年間指導計画を立てており、1年を1期から4期までに区切りねらいを策定している。期ごとのねらいに沿って各クラスで月案を策定しており、さらに週案、日案に落とし込んでいる。0歳から2歳では月案で一人ひとりの子どもに対して保育目標を立て、生活、健康、遊び、環境構成、援助活動などにわたり、主任保育士、担当保育士が評価、反省を行っている。幼児ではクラス単位の目標となっている。いずれの目標設定も季節や行事、クラス状況などを参考にした具体的なもので子どもの興味を引き出せるように工夫をしている。</p> <p>タブレットを全職員に持たせて子どもの状況等に関する情報共有に取り組み始めた</p> <p>新しい取り組みとしてタブレットを全職員が持ち、子どもたちの様子や状況などを常に自分のペースで確認できるようになった。もちろん担任会議、職員会議において子どもや保護者の情報共有は引き続き行っている。また、会議議事録なども今までは紙ベースであったが現在は探す手間もなく、タブレットにすぐに見ることができるようになり、確認作業もスムーズに行えるようになった。SNSも活用し、状況の伝達も確認漏れがないように全員に送信されている。このような新しい方法で子どもの状況等に関し職員間の情報共有に取り組み始めた。</p>			

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p>保護者に対して入園の際に「個人情報保護方針」を渡している。個人情報の利用目的、収集の方法、管理、開示、問合せについて周知徹底している。また、写真掲載についてもそのつど承諾をもらっている。その他、子どもの周辺のことになるが「光の森保育園職員として気をつけてもらいたいこと」には保護者に職員や他の保護者の個人情報を伝えてはならない(携帯電話の番号、メールアドレス、誰が妊娠した等)との記述がある。具体的で明解で、とても大切な指摘である。</p> <p>子どもを尊重し、保護者からの意見や要望はガーディアンズオピニオンズで聞いている</p> <p>園は一人ひとりの子どもを尊重し、受容し、子どもの気持を無視することなく日常の保育にあたっている。また保護者に対してはガーディアンズオピニオンズを通して直接的に意見や要望を聴取して、それらを保護者サポート委員会で話し合い、対応策を講じている。様々な事情を持った子どもの保護者から率直な意見が寄せられ、園は真摯に対応している。保護者にとって言い出しにくいことを表明できる手段としてガーディアンズオピニオンズは得難い機能を果たしている。</p> <p>「光の森保育園職員として気をつけてもらいたいこと」に虐待防止のヒントがある</p> <p>虐待防止について園作成の「光の森保育園職員として気をつけてもらいたいこと」という2枚のペーパーに着目した。先ず子どもの名前の呼び方について子どもの名前をニックネームで呼ばない、呼び捨てにしない、次に子どもの扱いについては揺さぶらない、3秒以上大声で怒らない、叩く、つねる、引きずるなどしない、心が傷つくようなことは言わない(ほかの子ども前で〇〇くんがおしゃべりなのは口から生まれてきたからだよね)など具体的でわかりやすい。その他多数の示唆に富む言葉があり子どもの権利を守り虐待防止にもつながるものと思われる。</p>			
サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p> 安心、安全な園生活を送れるようにヒヤリハットを積極的に提出して改善につなげている 子どもが安心、安全な園生活を送れるように積極的にヒヤリハットを提出することが習慣化している。書面は日付、記入者、発生時間帯、発生場所、クラス、園児名、被害児、内容、状況となっている。また、記入したヒヤリハットは事務室内、入り口横の皆の目につきやすい場所に1ヶ月単位で掲げられている。ヒヤリハットは毎月改善策を出して、さらに職員会議で検討し、日々の保育活動に反映するといった仕組みが定着している。 </p> <p> マニュアルの改廃や定期的な点検について職員の意見が反映されることが望まれる サービスの基本事項や手順等の改廃に時期や見直しの基準はあるかに対して「時期はないが問題が生じた場合変更を行う」とか、見直しに職員や保護者からの意見や提案は反映しているかに対しては「変更する場合は会議や委員会で話し合い決定している」とあった。職員アンケートの評価点も低かった。保育園が一つの家として園長、主任、保育者全員で全員を見守っていこうという民主的な運営の途上で未だ職員側の意見表明が十分でないのかもしれない。この際マニュアル委員会を立ち上げ定期的な見直しで職員の意見や提案がより反映されることが望まれる。 </p> <p> タブレットを全職員に持たせて業務の標準化を進める環境を整えている 園はすべてのマニュアル類や会議の議事録、ヒヤリハット、伝達表、育児日誌などの園が保有するすべての紙ベース情報を ICT化により可視化した。全職員にタブレットを持たせて業務の標準化の環境整備をした。これにより職員による対応のバラつきを標準化できサービス水準を一定レベルに保つことが可能となった。例えば他のクラスがどのようなことをしているかなども見える化により刺激を受け、保育の意欲向上につながっている。研修報告なども、参考資料まで手元にあり、しっかりと見返せるので効果的なものになった。 </p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4	
サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	
評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価項目1の講評	
<p>誕生日の子どもは登園時に胸にバッジをつけてもらい1日みんなから祝福されている</p> <p>クラス担任間で午睡の時間を利用して子どもの様子を伝え合っている。また職員間で同じ対応が取れるように職員室には大型の電子掲示板が設置されており、一目でどのクラスの状況も確認できるようになっている。その日の誕生日の子ども名前は掲示板にも記載されており、前日に伝達された誕生日のバッジを早番の保育士が登園するとすぐにつけてくれる。訪問日にも一人の子どもの胸にバッジがついており、あちこちからおめでとうの声が聞かれていた。</p> <p>子ども同士のトラブルには子どもの気持ちを受容し互いの気持ちが解るよう伝えている</p> <p>成長期にありがちなかみつきや子ども同士のトラブルに対しては、互いの気持ちを十分に受容する中で、保育士が相手の気持ちを代弁して伝え、できるだけ子どもが互いに納得できるよう支援している。トラブルの内容や年齢、頻度などによっては保護者に家庭での様子などを尋ねるなどすることもあるが、成長過程で起こるトラブルに対しては、基本的には加害児の名前は保護者に伝えていない。</p> <p>小学校の授業体験や遊びの会への参加など小学校と連携して取り組んでいる</p> <p>正しい姿勢や正しい鉛筆の持ち方は3歳児から伝えている。4歳児からはひらがなで「らりるれろ」を書くなど興味が出た時点からワークの時間がある。筆で描いた「いのしし」の元気な字が5歳児クラスに掲示されていた。数や時計はカルタや文字盤あそびなど日常の遊びや生活を通して自然に学んでいる。小学校の授業体験や1年生が開いてくれる遊びの会への参加を通じて子どもたちは学校に馴染んできている。</p>	
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	
評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている

評価項目2の講評		
<p>連絡帳や伝達表などを活用し家庭と園で共に子どもの成長を見守っている</p> <p>登園時には挨拶とともに連絡帳や伝達表で漏れのないよう一人ひとりの子どもの様子を確認しあっている。連絡帳は年齢ごとと区別されており0・1歳児用は育児日記となっている。機嫌や睡眠、入浴、授乳、食事などとともに家庭と園での様子が細かく記入されている。2歳児のほいくれんらくちようは家庭と園が各項目ごとに確認しやすいよう工夫されている。3歳児から5歳児は出席ノート以外に必要なに応じて個別ノートがあり家庭と園とが蜜に連絡し合いながら子どもを見守っている。連絡帳は毎日園長が確認し園全体で情報を共有し合っている。</p> <p>食事や排泄などの基本的な生活習慣が身につくよう伝えている</p> <p>箸の持ち方の手紙を保護者に出すなど家庭と園で協力し合って基本的な生活習慣が身につくよう伝えている。とくに気になる場合などは個別に面談などを行い保護者が安心して子どもに関われるように支援している。当番の子どもが職員室をノックして入り出席人数の報告をしていた。「頑張ってください」の園長先生の言葉に安心したように「はい、しつれいしました」と言って出て行った。幼児組には日案と週の活動内容がクラス入り口に掲示されており、保護者が園での子どもの生活や活動を知り会話につなげられるよう配慮されている。</p> <p>昼寝の長さは成長に合わせて調整している</p> <p>昼寝は0歳児は個々のリズムで、1歳児は12:00から14:30、2歳児は12:45から14:30、3、4、5歳児は13:00から14:30で5歳児は1月からお昼寝の時間がなくなるなど成長に合わせて調整している。その中で夕方疲れた様子の時には休ませたり、朝から眠そうな子どもに対してはベッドで休ませるなど一人ひとりの様子に対応している。3・4・5歳児はしきりははずした同じ部屋で休んでいるが、午前中の活動で疲れたのかみんなぐっすり眠っていた。</p>		
<p>3 評価項目3</p> <p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>関わりの中での言葉のやり取りを通じて言葉の感覚を養ってきている</p> <p>子どもと一緒に遊びや関わりの中での言葉のやりとりや、気持ちの共感や代弁をする中で、言葉の感覚や言葉で表現する方法を養っている。幼児では、こんな言葉を言われたらどんな気持ちがする？など相手が傷つく言葉や嬉しい気持ちになる言葉などに気づかせながら良い言葉や悪い言葉を伝えている。月1回の講師によるわらべうたの時間は、0歳児から5歳児まで心地良いリズムと一緒に言葉の響きを楽しんでいる。</p> <p>園庭や畑で花や野菜を育て、散歩マップで確認し全クラス週1回程度散歩に出かけている</p> <p>6月10月の遠足の他、必ず散歩マップで安全を確認したのち0歳から5歳児まで週1回散歩に出かけている。また10月11月には年齢ごと距離を変えての歩き遠足を計画している。畑では年間を通じて20種類の野菜を種や苗から育てており、ゆがいて食べたり、保護者に配ったりしている。子どもたちは自分たちで収穫した野菜に触れよく観察しながら絵を描いたりしている。5歳児クラスでは次の月のイメージを膨らませながらカレンダー作りをしていた。2歳児クラスの日誌には園庭で大根の苗を植えたり、チューリップの球根探しをした記載があった。</p> <p>遊びこめる環境を整える中で決まりの大切さや我慢する心が育っている</p> <p>玩具の数は子どもが遊びこめるように十分揃えている。集団ゲームや活動の中でルールを守ることを覚えたり、逆に小さい子が間違ってしまったらルールを守れない時に思いやる気持ちや解らないことは教えてあげること覚えたりしている。日常の保育の中でも解らない事は誰でもある事や物をやさしく扱うことなどを丁寧に伝えている。クラス日誌には言い合いになった時に双方で話し合い譲り合える条件を提供したと保育士の働きかけが記載されていた。</p>		

<div>4 評価項目4</div> <div>日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している</div> <div>評点(〇〇〇)</div>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価	標準項目											
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当										
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当										
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当										
<div>評価項目4の講評</div>												
<div>子どもが興味を持てるよう工夫し園全体で取り組んでいる</div> <p>子どもが興味や関心を持って取り組めるようにがんばったカードやカウントダウン表を作るなど工夫している。なわとびがんばりカードは3、4、5歳の各年齢に合わせて難度を変え運動会までの目標を定めており、毎朝行っているマラソンを日本一周カードにするなどしてやる気を高めている。運動会前には各クラスで日めくりのカウントダウン表を作り10日前から意識が高まってくるなど子どもが興味を持てるよう園全体で取り組んでいる。運動会では目標を定め継続して取り組むことで上達する事を学んでいけたらと考えている。</p> <div>協力し合うことの大切さを年齢に応じて伝え楽しい行事を行っている</div> <p>発表会では3、4歳児が背景を描いたり、年長児は舞台衣装を自分たちで創るなど、大道具を子どもたちが協力して作っている。お店やさんごっこではいかにもおいしそうなアンパンなどが並びお客さんに喜んでもらうよう丁寧に作っていることが伝わってくる。売り物となる商品はあらかじめ写真を取り子どもたちに前日見せることで購買意欲をかきたてている。どんな声かけが良いのかを子どもたちで考え売れ残っていた最後の1つまで売りきった。という記述があった。協力しながら楽しい行事を行っていることが記録からも窺える。</p> <div>頑張っている様子を保護者に伝え励ましなどの声かけをお願いしている</div> <p>園全体で行事に取り組み、目標をめざして頑張っている子どもたちの様子を迎えに来た保護者に伝えることで、保護者から励ましの声をかけてもらっている。組み体操などで子どもが自信が持てない時などは子どもの様子を説明して協力してもらったりしている。保護者からのアンケートでは行事に対する感謝の声が多く子どもの成長を喜び一緒に楽しんでいることが窺える。</p>												
<div>5 評価項目5</div> <div>保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている</div> <div>評点(〇〇)</div>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当			
評価	標準項目											
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当										
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当										
<div>評価項目5の講評</div>												
<div>声の大きさと落ち着いた環境づくりなど安心してくつろげるよう配慮をしている</div> <p>夕方は人数も少なくなるのでゆったりと過ごせるよう、保育者は常に穏やかな声で接し、わさわさと動き回らないで済むよう事前に必要な物を用意するように心がけている。玩具も子どもがやりたい物を出して広い所でゆったり遊べるようにしている。異年齢との関わりも大切に、大きい子どもがやっている物を見て小さい子どもが挑戦する姿もみられる。0歳児の部屋にダンボール箱にレースのカーテンがついた手作りの家があった。ひとりになりたい子どもが自分から入らしい。簡易ゆりかごの中で月令の低い子どもがスヤスヤ眠っていた。</p> <div>伝達表はネットワークサービスを利用し情報の共有を図っている</div> <p>合同保育中は伝達表やネットワークサービスを利用して情報を共有し伝達の漏れがないようにしている。3・4・5歳児は3クラスの部屋をオープンにし他の入り口は施錠して1つの部屋の1箇所の入り口からの送迎となっている。18:30には補食が出されており、焼きおにぎり、チャーハン、焼きうどんなど腹持ちの良いメニューが考えられている。急な残業でお迎えが遅くなり補食を頼んだが受付時間を過ぎてしまい叶わなかったという保護者の声があった。子ども本意の視点から既成のおやつでの代替での対応など検討を望みたい。</p>												

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

お替りの合図の鈴とともに子どもたちは一斉に並んでいた

乳児はそれぞれの時間に合わせて食べているが、3・4・5歳児は3部屋をオープンにしそれぞれのクラスから当番が出て一斉に「いただきます」をしている。「園の職員として気をつけてもらいたいこと」の中の給食についての項目には無理に食べさせない、食器は丁寧に置くなど保育士としてすべきことやしてはならないことが細かく記載されており、子どもは保育士の姿から自然に学んでいるように感じた。お替りの合図の鈴が鳴るのを待ち構えているように子どもたちは一斉に並んでいた。3歳児が正しく箸を持つ姿が印象的だった。

食物アレルギーや文化の違いに配慮して食事を提供している

食物アレルギーのある子どもに対しては医師の指示書に従って代替食を提供している。0・1歳児は給食室からアレルギー専用のトレーで運ばれてきて、担任に献立を読み上げながら手渡している。幼児は担任が給食室に取りに行き他の子どもと少し離れテーブルで食べるなど誤食を防いでいる。ハラルフードについては主食、主菜の場合は家庭からお弁当を持参してもらい、園の食器に移して出したり、副菜、汁物の場合は除去するなど工夫して対応している。今後ますます多様なニーズが増えることが予想される。

たくさんの野菜を育てるなど食に対する関心を深める取り組みをしている

年間計画に基づいて種や苗から20種類もの野菜を育てており、生育状態を自然係が他の職員に知らせている。子どもたちが収穫した野菜は蒸して食べたり、子どもたちの絵の貴重な題材になったりする。たくさん採れた時には保護者に自由に持ち帰ってもらっている。食育集会ではペープサートなどを使って風邪に負けない食事や食事のマナー等を伝えている。園でもクッキングの時間が少ないと感じているが、栽培しているたくさんの野菜のさらなる利用方法の検討と子どもからのリクエスト献立など子どもの声が聞けるための工夫を期待したい。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評		
<p>事故や怪我の予防にヒヤリハットの記録が活用されている</p> <p>子どもたちには活動の前にはそのつど安全について伝えて居り、日常の小さな気付きもそのつどヒヤリハットに記録している。フェルトの玩具を全部口に入れていたといった記載があった。転倒時に危険と考えられる箇所にはクッションを付けるなどただちに改善している。0歳児は5分ごとに体位、顔色、嘔吐などをチェックしており、乳幼児突然死候群についてを1階、2階に掲示し保護者にも喚起している。非難のため靴を保護者から募り各クラス必要なサイズを揃えている。</p> <p>健康集会や毎朝のマラソンなど子どもに対する健康への取り組みをしている</p> <p>毎月の身体測定その他、0歳児は月に1回、1. 2. 3. 4. 5歳児は年2回の園医による健康診断を受けている。また3, 4, 5歳児は毎日園庭を10週するマラソンを行っている。健康集会では咳のエチケットや熱中症について職員による劇などで子どもに解りやすく伝えている。歯ブラシは毎日使用後に消毒し土曜日に持ち帰っている。1歳児も11月より歯磨きを行っている。各洗面所には手洗いの方法が番号を付けて子どもに解りやすい絵で示されている。</p> <p>感染症予防のための取り組みが行われている</p> <p>感染症発生時には病名と人数を1・2階の掲示板に直ちに掲示して保護者に伝えている。また拡大を防ぐために疑わしい場合は受診をお願いしている。子どもに対しては鼻のかみ方やバイキンから体を守る方法を看護師が伝えている。医療的ケアが必要な時は、基本的には保護者を挟んでの会話となるが、場合によっては保護者の許可を得て、直接、園医やかかりつけ医院に連絡し連携して対応している。事故の経過記録からも保護者に丁寧に説明しており保護者からの理解を得ていることが窺える。</p>		
<p>8 評価項目8</p> <p>保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の気持ちに寄り添い気楽に相談できるようにしたいと考えている</p> <p>園の基本方針では保護者に対する育児支援を積極的に行うことを一番に掲げており、気楽に相談できるよう保護者に寄り添うような対応を心がけている。年2回担任と保護者で個人面談を行っており、保護者の不安に丁寧に答えている。保護者アンケートや各クラスのおたより帳からも保護者との信頼関係が深まっていることが窺える。保護者からの小さな指摘も逃がさず職員全体に伝え、園での忘れ物は写真に撮り1・2階に気付きやすい形で掲示されている。こうした細やかな配慮が保護者からの信頼向上に繋がっている。</p> <p>スマイル通信の利用で担任以外の保育者や保護者同士の会話が増えることを願っている</p> <p>玄関を入るとすぐに、風やコマなどの伝承遊びがわかり易い絵や図で紹介されていた。保護者サポート委員会で話し合い月ごとのテーマを決めて展示している。保育園での人気のレシピなどの紹介もある。1階ロビーにスマイル通信のコーナーがある。事前に告知されたテーマに合わせて保護者が家庭での子どもの様子を写真を添えて紹介している。今回のテーマはお家で頑張っていることでいつもより掲示が少なかったようだが、担任以外の保育者や保護者同士の会話が増えるきっかけになる事を願っている。</p> <p>保育士体験など保護者と共通認識を持てるための取り組みを行っている</p> <p>親子遠足は姉妹園との合同での実施のためスケジュールなど綿密に計画されていたが、雨天のため中止となり、代わりに親子一緒にのわらべ歌の会を実施した。その他運動会や発表会、保育参観などでは子どもの様子だけでなく、保育者が子どもに接する姿などから保護者は子育てについて多くの気付きを得ていると思われる。特に保育士体験の取り組みは、保護者にとって子育てに対して園と共通認識を持てる貴重な時間である。保護者からの貴重な気付きがより保護者の養育力向上に繋がるよういっそうの取り組みを期待したい。</p>		

9 評価項目9		
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>お正月や七五三などに神社に絵を飾るなど地域の資源を活用している</p> <p>運動会は小学校のグラウンドで行い、祖父母や来賓の競技がある。3・4・5歳は地元のサッカーチームの教室に申し込み参加している。お正月や七五三の前には子どもたちで季節の絵を描いて、子どもたちで地元の神社に持参して飾ってもらっている。またどんど焼きなど地元のイベントに子どもたちも参加するなど、日常の保育活動の中に地域の資源を活用する中で、子どもたちは地域の人たちにも溶け込んでいっている。</p> <p>地域の方と交流を深めていけるイベントを増やしていきたいと考えている。</p> <p>クリスマスにはサンタクロース、節分には鬼の役を地域の方をお願いしているほか、高齢者施設で異年齢でのふれあいを計画していたが、高齢化などの事情で実施することができなかった。地域の方へのベビーマッサージやわらべ歌などは行っているが、子どもたちが保育園以外の子どもや高齢者など地域の方と交流を深めていけるよう、園のイベントに地域の方の参加を呼びかけるなどの工夫をさらに期待したい。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	子どもが興味をもてるよう工夫し園全体で取り組んでいる	
内容①	マラソンや縄跳びなど目標を決めて挑戦できるよう工夫されたがんばったカードや日めくりカウントダウン表を作り、運動会への意欲を盛り上げ継続して頑張ることの大切さを伝えている。おみせやさんごっこでは年齢ごとに子どもたちで協力し合うことの大切さを楽しみながら伝えている。前日から買いたいものを写真で見えて選べるようにし手作りのお給料を配布するなど子どもが興味や関心を持って取り組めるよう工夫しながら園全体で取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている
タイトル②	効果を発揮することを見極めて着実にシステム投資を実施している	
内容②	当園では紙ベースの保管資料についてペーパーレス化を実現してきた中で、どのような選択をすれば投資に見合う最適の効果が発揮できるかを検討し、職員にタブレットを貸与し好きな時間にどこであってもマニュアルや会議議事録など園内の保存情報を確認することが出来る体制とし情報共有の面で格段の向上を図った。資料を大型画面に映し出すソフトを導入し入園説明会で入園のしおりを画面に映し出し、子ども連れの保護者が少しでも集中できる体制を取る等も同じ発想で効果的なものを選択した。限られた資源の有効活用が今後も期待される	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル③	保育所の専門性を地域に還元すべく、子育てひろば事業の内容充実に関心を込めている	
内容③	昨年度事業報告書の子育て支援事業に「離乳食体験や0歳児の体験保育は需要が高く、受け付け開始直後には予約が埋まってしまった。近隣の子育て世帯からの開催希望は多いので期待に応えられるようにしたい」という記述があった。園では「なかよし通信」を旬間で発行し、希望者を募っている。ひろばカレンダーで開催日時を知らせ、テーマとして「離乳食・0歳児体験保育」、「ベビーマッサージ」、「わらべうた」、「1,2歳児体験保育」を案内している。保育所としての専門性を地域に還元すべく、子育てひろば事業の一層の内容充実に関心を込めている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育園職員に相応しい行動が取れるよう園長が率先して啓蒙に当たっている
	内容	当園は職員に対して社会人として、保育園職員として守るべき規範や倫理を職員心得や職員倫理規定、「光の森職員として気をつけてもらいたいこと」の冊子を制定して明示している。入職時研修を行っているほか園長は冊子の内容について暗記するように要請し、記載された事項を遵守し統一された対応を願っている。冊子では、「子どもの名前の呼び方」「給食について」「子どもの扱いについて」「職員として」の4分類、40項目から構成されており、手に取りやすい作りとなっているが内容は緻密で保育園職員として相応しい内容となっている。
2	タイトル	全職員にタブレットを持たせ、子どもの状況等に関する情報共有に取り組み始めた
	内容	新しい取り組みとしてタブレットを全職員が持ち、子どもたちの様子や状況などを常に自分のペースで確認できるようになった。もちろん担任会議、職員会議において子どもや保護者の情報共有は引き続き行っている。また会議議事録なども今までは紙ベースであったが現在は探す手間もなく、タブレットにてすぐに見ることができるようになり、確認作業もスムーズに行えるようになった。SNSも活用し状況の伝達も確認漏れがないように全員に送付されている。このような新しい方法で子どもの状況等に関して職員間の情報共有に取り組み始めた。
3	タイトル	保護者が安心して子育てできるよう工夫し細かいところにも配慮している
	内容	園の基本方針では保護者に対する育児支援を一番に掲げており、気持ちに寄り添った対応を心がけている。お便り帳には保護者と担任とが子どもの様子を丁寧に伝え合っており、保護者からの小さな指摘もすぐに園全体に伝えすぐに対応している。保護者サポート委員会では季節の遊びや人気のレシピなどを玄関に掲示したり、スマイル通信のコーナーには新入児やテーマに沿って募集した家庭での子どもの様子が紹介されている。保育参観のほか保護者の保育士体験は保護者にとっても子育ての安心に繋がる貴重な体験となっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	待機児童の多い地区であることを認識し育児家庭の支援等を高い視野から実行しているがそれに合わせた当園の組織体制の検討が望まれる。
	内容	当園は地域と交流を深め地域に役立つ行事を実施し地域に認知されることを目指している。これらのことは本来の保育の別働隊であり、当園の職員の理解があって初めて可能であるが園長の指導力と職員の協力の下で推進され地元での認知も高まっている。既に実施されているものは、一時保育・土曜保育・子育て支援等であるが今後を展望すると実施中の行事の改善、地元に住する卒園生の増加等を踏まえて地域対策を検討する専任職員の配置などが必要と思われる。これらの前提で地域支援の新しい認識を生み出し一層の職員の協力を得ることが期待される。
2	タイトル	職員との対話重視の保護者会開催への要望がある。その中で指導計画の説明不足や保護者の育児の悩みなどが解決されることが望まれる
	内容	園では就労中の保護者の負担軽減のため保護者会の開催はしていない。子どもの様子をめぐっての保護者と職員の意見交換は送迎時のほんの短い時間で行われている。ある保護者は日々の職員の保育活動に対し感謝の気持ちを述べるとともに保護者会を設けてくれると嬉しいと思う。ご検討をお願いしますと語っている。また、職員のアンケートで指導計画を保護者にわかりやすく説明しているかとの問いに低い評価をしている。園も園だよりでねらいを伝え、日案を掲示しているなど一方通行の答えである。保護者と職員の対話を重視する保護者会の検討が望まれる。
3	タイトル	アレルギーや障害など特に配慮が必要な子どもに対する支援のあり方にさらなる工夫を期待する
	内容	園ではひとつの家のようにと表現されているように、各クラス全職員が同じ方向を向いて協力し合って日々の保育や行事が行われており、職員も子どもたちも一緒に目標に向かって頑張っていることが窺える。そうした中で同じように頑張れない子どもやいつも他の子どもと異なるものを離れた席で食べている子どもへの支援のあり方にさらなる工夫を望みたい。特別がんばったカードやみんなで同じ物を一緒に食べる日など子どもの笑顔がさらに輝く工夫を期待したい。